

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 8 月 30 日 (2007.8.30)

【公表番号】特表 2007-508024 (P2007-508024A)

【公表日】平成 19 年 4 月 5 日 (2007.4.5)

【年通号数】公開・登録公報 2007-013

【出願番号】特願 2006-534789 (P2006-534789)

【国際特許分類】

**C 1 2 N 15/09 (2006.01)**

**C 0 7 K 14/435 (2006.01)**

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/435

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 10 日 (2007.7.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

請求項 4 記載の方法に従って得られたプライマーから、アレニコラ マリナのヘモグロビン分子を構成するタンパク質鎖をコードするヌクレオチド配列を調製する方法であって、該方法が、以下の工程：

\* アレニコラ マリナのヘモグロビン分子を構成するタンパク質鎖の 1 つをコードする一本鎖 c D N A を加熱により変性し、いかなる二次構造物及び R N A 残留物をも変性する工程であって、該 c D N A は m R N A から得られたものであり、この工程は変性された一本鎖 c D N A の鎖を得ることを可能とし、

\* 前記変性した一本鎖 c D N A の鎖に前記方法により得られるプライマー対を適当な温度でハイブリダイズさせ、ハイブリダイズしたプライマーを得る工程、及び

\* 先の工程で得られたハイブリダイズしたプライマーから、適当な温度でポリメラーゼにより c D N A の相補鎖を合成する工程により構成されたサイクルを少なくとも 30 回繰り返すことを含む、ポリメラーゼ連鎖増幅法 (P C R) に相当することとを特徴とする、方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 1】

請求項 1 5 記載のタンパク質であって、該タンパク質が、

- 配列番号 1 2 の配列、
- 又は配列番号 1 2 の配列又は下記フラグメントから、特に 1 個以上のアミノ酸の置換、欠失又は付加により、誘導された任意の配列であって、但し、該誘導された配列はグロブリン鎖の互いの組み合わせを可能とするもの、
- 又は配列番号 1 2 の配列又は下記フラグメントに対して相同の任意の配列であって、好ましくは配列番号 1 2 の配列と少なくとも約 75 % の相同性を有し、但し、該相同配

列はグロブリン鎖の互いの組み合わせを可能とするもの、

- 又は前記配列のうちの１つの任意のフラグメントであって、但し、該フラグメントはグロブリン鎖の互いの組み合わせを可能とし、特に配列番号 1 2 の配列における少なくとも約 6 0 個のアミノ酸、特には少なくとも約 2 8 0 個の連続したアミノ酸からなる任意のフラグメント

を含むこと、あるいはそれより構成されることを特徴とする、請求項 1 5 記載のタンパク質。